



南ま第 1760 号
平成20年11月17日

国土交通省道路局長 殿

南風原町長 城 間 俊 安



今後の道路行政についての意見・提案について

貴職におかれましては、社会基盤整備にご尽力を賜り感謝申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の件については、南風原町が県都那覇市に隣接する地理的条件や高速道路、高規格幹線道路、インターチェンジの建設と沖縄県の車社会において今後の道路整備・管理について一層の充実を図る必要があります。

よって、今後の道路行政を進める上で別紙の事項について特段の措置が講じられるよう強く要望いたします。

(別紙)

1. 今後の道路行政についての意見・提案

①. 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

②－1. 地域の現状と抱える課題

②－2. 地域の目指すべき将来像

③. 道路施設の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

南風原町

1. 沖縄県の車社会において、高齢化社会による安全性を高めるためには、歩道構造に問題があり歩道拡幅、フラット構造への歩道の再整備が必要と考える。
2. 那覇市に隣接する南風原町において、南部医療センター、那覇市街地へのアクセス道路として、与那原・南風原バイパスが都市計画決定及び事業化されている。当該バイパスへの予算の重点配分により、事業の完成までのスピードアップを図る事が、まちづくりへの支援となるものとする。
3. 国道 507 号津嘉山バイパス(W=30)と関連し、津嘉山北土地区画整理事業(71.4ha)を事業中であるが、区画道路が補助対象外であるため、区画道路についても補助事業として採択すべきと考える。
4. 街路事業については幹線市街地であることから、用地費、物件補償費に多大な額となることから町負担が大きすぎるため用地補償費の補助率を大幅にアップすべきと考える。
5. 観光立県を目指す沖縄において、車道・歩道清掃の維持管理費について国庫補助の対象とすべきと考える。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

南風原町

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

・通学路として歩道が狭いうえ、道路標識が立てられており歩道の拡幅要請が高い。

歩道の構造について、マウンドアップの歩道となっていることからフラット構造への改善要請が高い。

・交差点に右折車線が設置されていないため、交通渋滞が生じている。交差点改良の要請が高い。

○課題

・市街地の歩道拡幅の場合、建物、用地補償費に多額の費用がかかる補助事業の採択基準の緩和や補助率のアップが必要と考える。

・町内の維持管理費に多額の予算が必要であり、歩道改善に要する町単独の予算が確保出来ない。

・交通渋滞の原因は国道、県道と町道との交差点であり、交差点部における右折帯設置は、上位の道路管理者で実施していただきたい。

- 高齢者、交通弱者に対し、やさしさのある道路。
- 来訪者にわかりやすく、景観にも気配りされている快適な道路。
- 道路の雑草がかりとられて管理が行き届いている道路。

南風原町第四次総合計画

□ 便利で人が集まるまちづくり。

- (1) 広域交通幹線軸と連携した町内道路交通・ネットワークの整備
- (2) 安全・快適な道路整備の推進。
- (3) 公共交通機関等の利便性の向上。
- (4) 各種都市機能の集積を活かした相乗効果の高いまちづくりの推進。

□ まちづくり目標

- 1. みんなで考え、みんなで創るわくわくするまちづくり。
- 2. 人もまちもきらきら育つまち。
- 3. ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち。
- 4. 工夫と連携で産業が躍動するまち。
- 5. みどりとまちが調和した安心・安全のまち。
- 6. 環境と共存する美しく住みよいまち。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

南風原町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	都市計画決定路線 与那原・南風原バイパス国道 507 号津嘉山バイパス・南風原中央線・仲井真津嘉山線	早期完成、供用開始することにより都市部へのアクセス強化、渋滞緩和等に期待。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	南部医療センター、那覇市街地へのアクセス道路。		
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	町内の国道 329 号歩道マウンドアップ構造よりフラット構造への改善。	高齢化社会に対応したバリアフリー社会へ期待。	